



様式3

公印	係	係長	文書主任/次長	局長	副議長	議長
閲覧・決裁印(乙丙丁)			保存・保管・永年・10年(5年)3年1年			

30年7月30日

立川市議会議長 殿

会派名及び  
 代表者氏名 緑たちかわ 印  
 又は議員氏名  
 出張者氏名 大沢 豊

出張報告書

調査・研修を行いましたので、次のとおり届け出ます。

出張者氏名	大沢豊
出張期間	2018・4・18(水)～19(木)まで1泊2日
出張先及び調査・研修項目	1 出張先会場 いわき市ゆったり館 2 調査研修項目 いわき市の現状 ①・避難者支援の現状と課題 ②・新潟県の検証作業から「生活への影響」 ③・トリチウム汚染水、たらちねの活動 ④・被災地バスツアー 津波の跡や原発事故の放射能の影響を検証しました。富岡町、大熊町、いわき市の「いわき放射能市民測定センターたらちね」と「たらちね診療所」を訪問した。

1 経路 立川ーゆもと駅(常磐線)ーゆったり館(会議会場、宿泊場所)  
 ーバスツアー(富岡町、大熊町、いわき市)ーいわき泉駅ー立川

2 調査旅費	円
鉄道賃等	運賃 8000円(4000円×1人=4000円)×2(往復) 特急料金 5000円(2500円×1人=5000円)×2(往復) 地下鉄等 円( × 人= )
航空賃	→ 円( × 人= ) → 円( × 人= )
バス	4000円(4000×1人=4000円)
モノレール	円( × 人= )
旅行雑費( / 日)	円( × 人= )
宿泊料(1泊2日)	9270円(9270円×1人=9270円)
その他( )	円
3 研究研修費	1000円
4 資料購入費	円
合計	27270円

5 概要

1日目：福島原発事故の避難者支援を続けておられる「避難の共同センター」事務局長、瀬戸大作さんの報告と新潟県の柏崎・刈羽原発の検証作業の報告などがあつた。

2日目：バスに乗って富岡町、大熊町を訪問する。富岡町では不通区間であつた常磐線が再開したばかりの富岡駅を見る、海岸線では防波堤のかさ上げが行われ地上から見ると海が見えなくなる違和感を覚えた。放射能の影響が大きく帰還困難区域では家屋が崩れ落ち始めている悲惨な現状を見た。



政務活動費領収書等貼付用紙

領 収 証

2018年 4月17日

大沢豊様

金6,500円

印紙税申告納  
付につき波谷  
税務署承認済

ただし、乗車券類代  
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
立川803 No.000014

領収書

大沢豊様

金額 4000円

但 被災地視察バスツアー代として  
上記正に領収いたしました

2018年4月18日

福島原発震災情報連絡センター

領収書

大沢豊様



金額 1000円

但 研修費として  
上記正に領収いたしました

2018年4月18日

福島原発震災情報連絡センター

政務活動費領収書等貼付用紙

<b>領 収 書</b>				№ 033810	
大 沢 豊 様				平成 30 年 4 月 19 日	
金 額	百	千	円	¥ 9 2 7 0	
				但し 宿泊代金として	
印紙税法第5条の 規定により印紙不要			 いわき ゆったり 館 〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本 TEL 0246-43-0801		担当者 

貼付欄

<b>領 収 書</b>		大 沢 豊 様	
Receipt 領収年月日	2018. 4. 19		
金額	¥6,500		
上記金額額かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類	JR tickets	
(30073 2枚)			
東日本旅客鉄道株式会社			
泉駅			
泉駅VF2発行	40074-02	印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 波 谷 税 務 署 承 認 済	